

イチローPOST世田谷区立小中学校連携プロジェクトの実施について

1 主旨

教育委員会では、それぞれの子どもたちが思い描く未来を自分らしく生きるために、自らが課題に向き合い、判断して行動できるよう教育振興基本計画（案）の教育目標に「幸せな未来をデザインし、創造するせたがやの教育」を掲げている。

そこで、子どもの未来を応援するという、ユニクロが次世代育成プロジェクトとして実施している「イチローPOST」の取組みを自治体として初めて共催実施することについて報告する。

2 実施までの経緯

経済産業部より、企業と連携した取組みとして教育総合センターへ紹介され、教育委員会の教育目標と共有できる取組みと判断した。そして、子どもたちへの効果や学校への事務負担も考慮しながら、本プロジェクトの実施を決定した。

3 実施概要

(1) 事業内容

子どもたちが様々な夢や挑戦、その思いを手紙に書いてイチロー氏（元プロ野球選手）へ送ることにより、イチロー氏がその手紙を読み、実際に会いにきたり、特設サイトからメッセージをくれたりと、子どもたちの夢を応援、後押しするプロジェクト。

(2) 配布対象

世田谷区立小中学校90校の児童・生徒 約50,200人

（小学生 約38,300人、中学生 約11,900人）

(3) 実施方法

- ・各学校で「イチローPOST」の用紙を児童・生徒へ配布する。（3月上旬頃）
- ・児童・生徒は、手紙を書き（任意）、学校ごとにとりまとめて事務局へ送付する。
（3月下旬頃）
- ・イチロー氏が実際に会いにきたり（予定）、メッセージを配信したりする。
（5月以降）